

浮世絵歳時記～花と緑と人～ ②サクラの名所

～人々にぎわう お花見スポットの今昔～

春の訪れを感じさせてくれる花といえば、何と言ってもサクラでしょう。最近ではどんどん開花が早まり、まだ肌寒さが残る3月末に満開を迎えることも増えてきました。第2回目の今回は、サクラが江戸時代も今と変わらず人気であったことを、浮世絵を通してご紹介いたします。

現在、東京にあるいくつかのサクラの名所は、江戸時代から続くものです。例えば、かつては寛永寺の敷地であった上野恩賜公園や、隅田堤と呼ばれた向島の隅田川沿いの堤防、あるいは、東京都北区王子にある飛鳥山などが挙げられます。花見客でにぎわう様子は浮世絵にしばしば描かれました。

一方で、今では失われてしまったサクラの名所もあります。歌川広重の「名所江戸百景 千駄木団子坂花屋敷」**1**は、現在の東京都文京区千駄木、団子坂のすぐそばにあった庭園です。宇平次という植木屋が四季折々の花木を植えて開いた庭園で、花屋敷と呼ばれていました。花見客たちが、サクラの木の下に置かれた縁台に座りながら、満開の花を楽しんでいます。中には、小さな子どもを連れた家族の姿も見えます。

画面の右上、高台の上には紫泉亭という建物が立っています。浴室も付いていたそうで、風呂上りに眼下に広がる満開のサクラを楽しむこともできました。残念ながら、この花屋敷は大正時代には閉鎖されており、今ではその面影はまったく残っていません。

さて、数ある江戸時代のサクラの名所の中でも、他とは違う特殊な場所が、最近NHKの大河ドラマ「べらぼう～篤重栄華乃夢断～」でも取り上げられている吉原遊廓です。歌川広重「東都名所 吉原夜桜ノ図」**2**では、画面を横断するようにサクラの木が並んでいます。着飾った花魁や客たちでにぎわっていますが、ここは仲の町と呼ばれる吉原のメインストリートです。200メートルほどあり、サクラ並木がずらりと続いていました。

では、吉原遊廓のサクラはいったいどこが特殊なのでしょう。実は、吉原遊廓のサクラは開花している時だけにしか植えられていない期間限定のものでした。すなわち、普段はこの道には何も無いのですが、開花の時期になると植木屋が外から樹木を運び入れ、花が散ると今度は樹木ごとすべて撤去します。遊廓の客を喜ばせる春のイベントとしてサクラが植えられていたのです。それだけサクラの人氣が格別であったことを示すと同時に、大量の樹木を傷めずに植え替えた、江戸時代の園芸技術の高さにも驚かされます。



1 歌川広重「名所江戸百景 千駄木団子坂花屋敷」
国立国会図書館蔵
出典: <https://dl.ndl.go.jp/pid/1312252>



2 歌川広重「東都名所 吉原夜桜ノ図」メトロポリタン美術館蔵

日野原 健司(ひのはら けんじ)プロフィール

1974年生まれ。千葉県出身。慶應義塾大学大学院文学研究科前期博士課程修了。現在、太田記念美術館主席学芸員、慶應義塾大学非常勤講師。江戸時代から明治時代まで、浮世絵の歴史を幅広く研究しつつ、妖怪や園芸、旅といったジャンルの研究にも取り組んでいる。太田記念美術館にて「江戸園芸花尽し」展(2009年)を担当。著書に『浮世絵でめぐる江戸の花』(平野恵氏との共著、誠文堂新光社)、『ようこそ浮世絵の世界へ』(東京美術)など。



JGN NEWS LETTER Vol.23

2025年(令和7年)5月27日発行・初夏号

編集発行 / 一般社団法人 ジャパン・ガーデナーズ・ネットワーク

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-10-3 エキスパートオフィス麹町1階

TEL: 03-4405-1033 E-mail: info@gardenersnet.or.jp

HP: www.gardenersnet.or.jp Gadenet: www.gadenet.jp

最新の情報はGadenetをご覧ください

ガデネット 検索



* 本誌掲載の写真や記事などを無断で転載・複製・引用することを禁じます。

Japan
Gardeners'
Network

JGN NEWS LETTER

2025年初夏号

特集 世界に誇る タケとササ

柏木 治次

NURSERIES 古以津美園芸

Comment 塚本こなみ・大澤 恵理子

浮世絵歳時記 ～花と緑と人～ 日野原 健司

キンジョウギョクチク
Phyllostachys aureosulcata
f. *spectabilis*
中国原産の栽培種。
稈(幹)の長さは4～8mになる。
黄色の稈で芽溝部に緑条が入る。

特集 世界に誇る タケとササ

株式会社エコパレ代表取締役 / 富士竹類植物園 元研究主任・元事業本部長 / 蓼科笹類植物園「笹離宮」園長
柏木 治次さん

富士竹類植物園内。タケに守られた園路を歩くと、心を洗われるようだ。

めったに見られないと言われる開花をはじめ、身近だけれど謎の多い植物、タケ。自生種のないヨーロッパでタケに出会って以来、その分類や生態を研究してこられた柏木 治次さんにお話を伺いました。世界でも珍しいタケ類、ササ類の植物園と品種をご紹介します。

JGN事務局(以下 事務局): 海外で庭や植物の管理を経験されたそうですね。

柏木 治次さん(以下 柏木): 1977年(昭和52年)にヨーロッパへ行きました。最初は、ベルギーのカラムタウト樹木園※注1でした。

※注1 Arboretum Kalmthout / 貴重な木本植物コレクションを擁する樹木園 <https://www.arboretumkalmthout.be/en.html>



事務局: きっかけは何だったのでしょうか？

柏木: 農業を営む両親が親しくしていた、掛川の加茂花菖蒲園の加茂元照さんから、当時24歳だった私に「向こうへ行ってみないか」という話があって、即断で「行きます」と言いました。

事務局: その頃から、植物はお好きでいらしたんですね。

柏木: 嫌いではなかったけれど、正直、特に植物をやりたいう気持ちはなかったです。園芸の仕事の経験もなく、先方がどんな所かも知らず、でもヨーロッパへ行ってみようと。初めての海外でした。

事務局: カラムタウト樹木園の印象は？

柏木: 私が行った3月下旬、まだ寒い時期だったのですが、園内の桜が満開だったんです。日本を辞つ時、東京はまだ咲いていなかったのに、びっくりしました。今思うと、迎えてくれたんでしょうかね。この時期に咲いたのは、この年だけでした。オランダやスコットランドから来た研修生が一緒でした。

事務局: タケとはこちらで出会ったのですか？

柏木: 園内にタケがあると気づきました。日本を辞つ前に「向こうにもタケがある」と耳にはしていましたが、本当にあるんだと。でもその頃は、ヨーロッパにタケが自生しているかないかも知らなかったくらいですから、とにかく植物の勉強に励みました。特に、学名を覚えるのには苦労しました。

事務局: 1年間、カラムタウト樹木園での研修をされた後は？

柏木: 園主のR.ベルダー(Belder, Robert)さんの奥様から、次に研修したい所はありますかと話をいただいて、もし、自分を気に入ってくれる所があれば、イギリスへ行きたいと希望しました。カラムタウト樹木園にいる間、イギリスやヨーロッパ諸国の植物園やフラワーショーに行き、イギリスの園芸関係者とも交流ができていたので。紹介してもらったのがウィンザー グレートパークのサヴィルガーデン※注2でした。

無事ビザ申請も通って、イギリスでの研修が始まりました。なんと、ウィンザー城の鍵を渡されて、敷地内にある研修生の寮に住んで研修しました。その間、英国各地の研究者や趣味家に会う機会も多くあって、「タケ」のつながりで、先輩方に色々教えていただきました。好きなものを突き詰めていったら、様々な物事や人とつながって世界が広がっていったのです。

※注2 Windsor Great Park・The Savill Garden / 英国王室の所有地の中にある庭 <https://www.windsorgreatpark.co.uk/explore/the-gardens/the-savill-garden/>

事務局: 次はフランス、ブラフランス竹植物園※注3へ行かれました。

※注3 Bamboueraie de Prafrance (現 La Bamboueraie en Cévennes) / フランス南部、ラングドック地方にある竹の植物園 <https://bamboueraie.fr/>



ドレパノスタキウム(ブータンのタケ)
Drepanostachyum khasianum
【大きさ】 稈(幹)の長さ3~5m、直径1.5~3cm程
【特徴】 株立ちのタケよりもやや広がる。各節から細かい枝が無数に出る。全体に柔らかな樹形。



ホテイチク *Phyllostachys aurea*
【大きさ】 稈長3~6m
【特徴】 稈の基部から高さ3mくらいまで、圧縮されたような形の節間が見られる。暑さや乾燥に強く、最も栽培しやすいタケ。



キッコウチク
Phyllostachys pubescens var. *heterocycla*
【大きさ】 稈長10m程
【特徴】 モウソウチクの突然変異。本来なら水平に稈を取り巻く節が、亀の甲羅状になる。



シホウチク *Tetragonocalamus quadrangularis*
【大きさ】 稈長4~5m、胸高(地上1m)の直径3~4cm
【特徴】 太い稈は四角形で節には突起があり、表面はザラザラしている。秋に節が出る。葉は冬でも美しく、枝葉は先端が下垂する。

柏木: 1856年にE.マゼル(Mazel, Eugène)氏によって造園され、その後Y.クルゼ(Cluzet, Yves)氏が再建した歴史ある植物園です。私はタケの栽培などを手伝いました。半年ほど経った頃、当時、富士竹類植物園の園長だった室井紳先生から、そろそろ帰って来ないかと声がかかりました。ヨーロッパに来る前から、園の研究報告書作成を手伝っていたこともあって、室井先生とは標本や手紙のやり取りをしていたのです。

事務局: ところで、富士竹類植物園がスタートしたのは、



ベニホウオウ *Bambusa multiplex* f. *viridi-striata*
【大きさ】 稈長2~3m、胸高直径1.5cm程
【特徴】 株立ち性で、稈表面は黄金色で緑色の縦条が入る。小さな葉が羽状複葉状に多数つく。



ソロバンチク *Qiongzhusa tumidinoda*
【大きさ】 稈長2~4m、直径1~2cm
【特徴】 節がそろばんの玉のようになる。葉は狭い披針形で冬も美しい。気温30℃以上・-2℃以下は適さない。



ジャクチク *Indocalamus tessellatus*
【大きさ】 稈長2~4m
【特徴】 中国原産。葉は大きく無毛で長さ60cm、幅15cm程になる。

いつ頃でしょうか？

柏木: 1951年(昭和26年)です。当初は今の長泉町ではなく、御殿場に総合植物園をつくろうとしていたところ、タケの権威者、京都大学の上田弘一郎先生から、ぜひタケに特化した植物園をつくってもらいたいと要望がありました。戦後間もなく、植物園などない時代でしたが、研究だけでなく竹の産業や文化のためにもと、この植物園がつくられました。その後、1972年(昭和47年)に、東名高速道路の工事計画に伴って現在の場所へ移転しました。

事務局：現在園内には、タケの種類はどのくらいありますか？

柏木：500種ほどです。開園以来、国内外から収集を続けてきました。私が海外へ足を運んで、分けてもらったものもあります。園内のタケは、別種が侵入しないように深さ1メートルのコンクリート枠をつくって、品種ごとに植えています。タケは、稈(幹)にも鑑賞するおもしろさがあるので、ぜひご覧いただきたいです。

事務局：案外、タケ類に関して知らないことが多いと気づかされました。

柏木：タケは開花後枯れてしまうと思われがちですが、実際にはそうでない品種もあります。また、日本の在来種であるササ類は種類も多く、種の起源には大変興味があります。間伐材の二次利用でよく知られている竹炭は、焼く温度によって性質が変わるので、用途を分けると良いですね。

事務局：ここにあったササ類を、長野県蓼科高原に移植されたと聞きました。

柏木：「日本竹笹の会」の事務局を担当していた時、ササの医薬品会社を経営する大泉高明社長から、長野県の工場に広い土地があるので、ササを植えたいと相談されました。当時、静岡にあるこの富士竹類植物園では、温暖化の影響で寒冷地のササの生育が良くなかったため、色々なササを植栽したらどうかと提案させていただきました。

竹笹の縁で知り合った京都の建築家、安井清先生も加わり、ササ類を専門とした植物園と数寄屋庭園を融合させた蓼科笹類植物園「笹離宮」が約10年をかけて完成しました。

事務局：(株)エコパレの仕事では、タケに関わるものが多いですか？



蓼科笹類植物園「笹離宮」園内
内露地のオロシマチク *Pleioblastus distichus*
【大きさ】稈長10～30cm
【特徴】日本産のササ類中最も丈が低い。
春先に刈り込むと芝生のようになる。
無毛の披針形の葉は、葉身3～5cm。

柏木：やはり、タケに関わる仕事は多いですね。比較的面積の広い個人庭や、別荘、ホテルの植栽をすることもあります。タケの苗を分けて欲しいという会社からの依頼にも、できる範囲で対応しています。

事務局：タケに関する専門知識や経験を持って、施工管理ができる方は少ないのでは？

柏木：そうですね。タケの植栽施工でも、時期的にはいつ頃が適しているのかとか、植え方の要領がわかっているだけで面倒なことはないのですが。

環境によって発生する害虫もいます。都市部の夜間も明るい場所では成虫を誘ってしまい、タケの根にコガネムシの被害が増えたり、毛虫のつく品種もあるので、注意が必要です。

事務局：柏木さんご自身が、今、そしてこれからやろうとしていらっしゃることは？

柏木：富士竹類植物園や笹離宮を訪れていただいて、タケ・ササ類の良さをたくさんの方々に知ってもらいたいです。

残念ながら現代は、タケが邪魔者扱いになることが多く、90年代以降は、タケをなんとかしたいと困っている人を集めた講習会で話をする活動もしていました。

今後は、若いこれからの人たちに、私が持っている知識や経験を伝えていかなければいけないと思っています。タケを研究する方々とお付き合いする機会を得ながら、実際に庭を管理する人材も育てていきたいです。

柏木 治次(かしわざ はるつぐ)プロフィール

株式会社エコパレ代表取締役
富士竹類植物園 元研究主任・元事業本部長
一般財団法人蓼科笹類植物園「笹離宮」園長
ヨーロッパの庭園で竹の魅力にひかれ、以来、竹笹類を研究。講演や執筆、社会活動を通じて、その生態や文化を伝える。また、竹笹類を使った植栽施工にも携わり、長年の経験を活かした確かな技術には定評がある。共著書籍に「原色日本園芸竹笹図説(はあと出版)」「ふしぎな植物・竹」など。 画像提供：柏木 治次(特集記事・表紙共)

富士竹類植物園
〒411-0932 静岡県駿東郡長泉町南一色885
<https://fujibamboogarden.com/light/>

蓼科笹類植物園「笹離宮」
〒391-0011 長野県茅野市玉川字原山11400-1017
<https://www.tateshina-sasa.com/>

※両園共、事前に開園日・時間をご確認の上、お出かけください。

Comment

樹木医・
塚本 こなみ Konami Tsukamoto フラワーパーク理事長



桜とチューリップを組み合わせたシーン

巨樹や古木の移植実績や、はまつフラワーパークの管理運営で知られる塚本こなみさん。自然豊かな環境で育ち、樹木の生態に関する知識を培った。樹木医になってからは、木を命として捉えて真剣に向き合うようになった。移植困難と言われる樹木でも、できないと思う前にどうしたらできるのかを考え、成功にたなげた。フラワーパークの運営では、花の組み合わせでシーンを演出し、ここにしかない魅力・ブランドを構築、お客さんに感動してまた来たいと感じてもらえるよう腐心した。全力で生きている植物の魅力を伝え、訪れた人の生きる力にして欲しいと思っている。植物の力を借りて心身の健康を回復してもらう「園芸療法」にも力を入れる。今後は、



フジとカラフルな花や葉との競演

塚本 こなみさんから3つのコメント

- 1 「自分の好きな植物をひとつ決め、育ててみる」
まずはひとつの植物を選び、その個性について調べてみる。それを一本大切に育てることで、グリーンハンドになる。
- 2 「身近に植物を置く」
身近にある植物と話をすると、心が整い、癒される。植物の力を感じて欲しい。
- 3 「自分の好きなスポットを見つける」
気になる植物のあるスポットを、好奇心を持って見つけると良い。そこまで歩けば健康とウェルビーイングにつながる。

進化を続ける庭で、心を魅了するお二人。
日々の積み重ねが力になることを教えてください。

樹木医・
大澤 恵理子 Eriko Ohsawa 観光庭園オーナー

ローザンベリー多和田をつくり、ゲストに楽しんでもらうことに情熱を注いだ大澤恵理子さん。植物好きの両親のもと、庭は生活の中で楽しむ身近なものだった。結婚後、好きな山野草や野生種のバラなどを育てたが物足りなくなり、地域貢献もしたいと、琵琶湖東岸近くの広大な採石場跡地で庭園づくりをスタート。連日の石拾いや難工事でも苦労と感じず、荒地地



色とりどりのバラが咲くガーデン

を自分の感性を反映させたガーデンに変えていくのが楽しかった。山野草・グラス類を好むガーデナーやパンジー・ビオラの専門家との出会いは、ガーデンを演出する重要な植物と結びついた。バラやクレマチス、クリスマスローズなどは、得意とするスタッフが植栽し、苗の販売もおこなっている。安心して楽しんでもらえるよう、通路の舗装整備やベンチの設置など、園内の改修や手直しに余念がない。ガーデンづくりに終わりはないのだ。



樹木に囲まれた空間を花々が美しく演出

大澤 恵理子さんから3つのコメント

- 1 「健康に留意する」
楽しく仕事をするためにも、健康が第一。自分の健康は自分でしか守れない。ガーデンを歩くことも健康法の一つ。
- 2 「若いスタッフの意見を取り入れる」
古き良きものも大事だが、時代の流れに乗れるよう、若い人が良いと思うものも必要。
- 3 「猛暑を乗り越える方法を考えたい」
近年の極端な猛暑への対策として、マルチングやグラウンドカバー植物の利用など、軸となる方法をマニュアル化したい。

古以津美園芸 Koizumi Nursery



マルバアキグミ(Elaeagnus umbellata var. rotundifolia)を背に、
圃場に立つ古泉謙治さん。
右手に持つのはキンモウツツジ(Rhododendron oldhamii)。
左はビバーナム・シナモミフォルム種(Viburnum cinnamomifolium) ⑨

樹木を中心に多品種生産

樹木を中心に500種類
以上の植物を生産してい

る古以津美園芸。神奈川県海老名市の南部、海老名駅から車で約10分の田畑と住宅地が混在する地域にある。古泉謙治さんに案内してもらった圃場 ① では、見たことがない樹木と品種の多様さに、興味と興奮を抑えられなかった。

父親が始めた植木生産を継ぐ

古泉家は、代々米と野菜をつくる農家

だったが、父の喜久治さんが植木生産を始めた。高度成長期で緑化木の需要が大きく伸びた時期で、生産者仲間と共にカナメモチ属の交雑種‘レッドロビン’を導入し、年間何万本も生産した。その頃中学生だった謙治さんは、夜通し挿し木を手伝った時には閉口したが、小さい頃から身近に植物があり、家業を継ぐものだと思っていた。まず、植木を中心に生産するナーセリーで1年間修業し、特にコニファーやグラウンドカバーについて実地で学んだ。進学し

た農業者大学校在学中に1か月間米国カリフォルニアで研修、卒業旅行で米国東部を視察し、農業生産や牧畜の規模に圧倒された。様々な知見を得る中、同行者が皆、植物の学名を理解している様子に感銘を受け、その後も研鑽を積んだ。園芸植物の情報は海外の書籍から得ることが多く、実際に海外視察で見つけた植物を導入している。現在生産しているのは、樹木が8割、宿根草が2割ぐらいだ ②。

生産品目

生産品目は、時代と共に変化する住宅事情を考慮して、自身が良いと感じたものを選定しているが、植木には生産や普及に年数がかかる難しさがある。25年ぐらい前、オーストラリアやニュージーランドに行きオージープランツを導入したが、当時は思いとは裏腹に売れなかったそうだ。需要と供給を見据えながら、たくさん生産されているものは避け、ツツジ類やアオキ、ツバキなどの流通量が減少した植物をつくることもある。取引先の要望を取り入れて生産する場合、多品種の中



③ Pieris 'スプリングベル'
(右下:赤い新芽)



④ Rhododendron tashiroi
× R. weyrichii '鎌倉美人'



⑥ Aucuba '夏の雲'



⑦ Juniperus × pfitzeriana
'Saybrook Gold'



J. squamata
'Dream Joy'



J. horizontalis
'Hughes'



⑤ Ilex vomitoria
'八剣枝垂'

から代替のものを提案すれば、供給できるまでのタイムラグをなくせるのが強みだ。世の中に出回っていないものをつくり、見て感動してもらいたいという思いが、多品種生産の根底にある。

栽培管理と工夫

多品種生産のため、管理方法や繁殖時期がそれぞれに異なり、きめ細やかな対応が必要だ。ポット栽培の培養土は基本の配合に加え、その植物の性質に合うよう排水性や酸度を自身で調整している。病虫害防除や水管理も同様だ。地植えの圃場には有機堆肥を混ぜ、連作しない。特にバラ科植物は連作障害が起きやすいので、要注意だ。

さらに、刈り込まない、自然樹形を保つなど、つくり方を変えて差別化を図っている。枝垂れる品種や枝や幹がうねうねと曲がって伸びる雲竜タイプ、枝が横に伸びず細い円錐樹形になるファスティギアータの品種など、「こんな形もあるんだ!」と驚いて興味を持ってくれたら嬉しいと話す。

オススメの植物

神奈川県試験場が育種したアセビ‘スプリングベル’ ③ は、従来の

品種より暑さと強光に強く、これから有望だ。赤い新芽も美しい。ツツジ‘鎌倉美人’ ④ は、直立樹形で立ち姿が美しく、下の方から上まで花が良く着く。雌雄異株であるヤブソノキの雄株選抜品種‘八剣枝垂れ’ ⑤ は、枝が横に広がらないので、狭い場所でも植えられる。しかも枝垂れの性質を持ちながら、上に強く伸びる枝も出るため、支柱を立てて主幹を誘引する必要がない。真っ白な新芽が目を引きアオキ‘夏の雲’ ⑥ は、雌株で赤い実をつける。横に広がってグラウンドカバーになるコニファー類 ⑦ は、一年中ブルーや黄色の葉を楽しめ、ドライガーデンにも使える。

今注目しているのは、常緑性のマコミ、刈り込み可能で、垣にもできる常緑のコトネアスター・フランケッティ種 ⑧。そして、常緑の葉が美しく丈夫なビバーナム・シナモミフォルム種 ⑨ や、細葉でフォルムが目を引きビバーナム・リティドフィラム種 ⑩ も気になる。

変化する時代に価値ある植物を

今後は、樹形が面白い、枝垂れや雲竜タイプ、場所を取らない矮性の品種、また、樹形を細くつくる栽培にも取り組んでいくつもりだ。

今までにない景観をつくる樹木のある場所が、観光に活かされたり、病院や高齢者施設では、ニオイトサミズキやロニセラなど香りのある植物がコミュニティの場を創出したりと、付加価値を持つ植物が植えられれば、植物に関心を向ける機会も増えるのではないだろうか。今はまだよく知られていない植物も、その価値を見出し提供していきたい。(取材:事務局)

古以津美園芸

〒243-0415 神奈川県海老名市上河内1049
TEL:046-238-3799 FAX:046-238-6269



① 多種多様な植物を育てる圃場



② 育苗中のハウス内



⑧ Cotoneaster franchetii



⑩ Viburnum rhytidophyllum